

# electro-harmonix

## Op-Amp Big Muff Pi Distortion/Sustainer

70年代後半の回路を忠実に再現したOp-Amp Big Muffをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。Op-Amp Big Muffの回路はICやV4 Big Muffと呼ばれ、増幅回路にトランジスタを採用した伝統的なBig Muffの回路とは異なり、シグネイチャー・ディストーションサウンドを生み出すためにオペアンプを使用しています。幅広いトーンコントロールとOp-Amp Big Muff ならではのキャラクターは、間違いなくあなたのサウンドに素晴らしい魅力を与えてくれるでしょう。

### — コントロール —

**VOLUME Control** - 出力レベルを設定します。

**TONE Control** - 高域から低域までの幅広いトーンをコントロールします。時計回りに回すと高域が増加し、低域が減少します。

**TONE Switch** - 回路からTONEコントロールをバイパスします。このスイッチはどちらのポジションでも同じボリュームになるようにオリジナルOp-Amp Big Muffから改良されています。

**SUSTAIN Control** - サステインとディストーションの量を調整します。

**Footswitch & Status LED** - LEDが点灯しているとき、Big MuffはONの状態である事を示し、消灯している場合はOFF/トゥルー・バイパスモードであることを示します。フットスイッチはエフェクトのON/OFFを切り替えます。

**INPUT Jack** - Op-Amp Big Muffの入力端子です。入力インピーダンスは55KΩです。

**AMP Jack** - Op-Amp Big Muffの出力端子です。Op-Amp Big Muffがバイパスされている場合、AMPジャックはINPUTジャックと直結されます。

**9V Power Jack** - Op-Amp Big Muffは9Vバッテリー(006P)もしくはelectro-harmonix JP9.6-200アダプターや、25mA以上の供給が可能なACアダプターで駆動します。アダプターのプラグの極性はセンターマイナスです。ACアダプターをご使用の際はバッテリーからの電源供給は行われません。消費電流は5mAです。

※アダプターを使用する場合はelectro-harmonix製 JP9.6DC-200アダプターを推奨します。

## — 電池交換について —

9Vバッテリーを交換する場合はOp-Amp Big Muffの底面パネルを固定している4本のビスを取り外して下さい。ビスを外したら底面パネルを外しバッテリーの交換が可能です。底面パネルを取り外した際は、内部基板に触れて損傷を招く恐れがあるため、充分にご注意ください。

